

目 次

第 1 号 2月7日（金曜日）

令和6年度下郷町議会2月第1回会議会議録（第1号）	1
議事日程第1号	2
開議	3
会議録署名議員の指名	3
会議日程の報告	3
町長提案理由の説明	3
議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）	4
散会	8

令和6年度下郷町議会2月第1回会議会議録第1号

招 集 年 月 日	令和7年2月7日			
本会議の日程	令和7年2月7日から2月7日までの1日間			
招 集 の 場 所	下郷町役場議場			
本 日 の 会 議	開議	令和7年2月7日 午前10時00分	議長	湯 田 健 二
	散会	令和7年2月7日 午前10時22分	議長	湯 田 健 二
応 招 議 員	1 番	渡 部 哲	2 番	星 昌 彦
	3 番	佐 藤 勤	6 番	小 玉 智 和
	8 番	星 和 志	9 番	星 邦 一
	10 番	山名田 久美子	11 番	星 能 哲
	12 番	湯 田 健 二		
不 応 招 議 員	4 番	湯 田 純 朗	5 番	猪 股 謙 喜
	7 番	大 竹 浩 治		
出 席 議 員	1 番	渡 部 哲	2 番	星 昌 彦
	3 番	佐 藤 勤	6 番	小 玉 智 和
	8 番	星 和 志	9 番	星 邦 一
	10 番	山名田 久美子	11 番	星 能 哲
	12 番	湯 田 健 二		
欠 席 議 員	4 番	湯 田 純 朗	5 番	猪 股 謙 喜
	7 番	大 竹 浩 治		
会議録署名議員	2 番	星 昌 彦	3 番	佐 藤 勤
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	町 長	星 學	副 町 長	室 井 哲
	参事兼総務課長	湯 田 英 幸	総合政策課長	佐 藤 英 勝
	税務課長兼会計管理者	玉 川 清 美	町 民 課 長	星 敦 史
	健康福祉課長	湯 田 浩 光	農 林 課 長	猪 股 朋 弘
	参事兼建設課長	玉 川 武 之	教 育 次 長	只 浦 孝 行
	農業委員会事務局長	大 竹 浩 二		
本会議に職務のため出席した者の職氏名	事 務 局 長	荒 井 康 貴	書 記	室 井 徳 人
	書 記	玉 川 和 哉		
議 事 日 程	別紙のとおり			
会議に付した事件名	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

令和6年度下郷町議会2月第1回会議議事日程（第1号）

期日：令和7年2月7日（金）午前10時開議

開 議

日程第 1 会議録署名議員の指名

2 番 星 昌 彦

3 番 佐 藤 勤

日程第 2 会議日程の報告

日程第 3 町長提案理由の説明

日程第 4 議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）

散 会

(会議の経過)

○議長（湯田健二君） おはようございます。

今会議の説明のため出席を求めた教育長、湯田嘉朗君が公務出張のため本日の会議を欠席いたしますので、ご了承願います。

ただいまの出席議員は9名であります。4番、湯田純朗君、5番、猪股謙喜君、7番、大竹浩治君から欠席する旨の届出がありました。

定足数に達しておりますので、令和6年度下郷町議会2月第1回会議を開きます。（午前10時00分）

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配りましたとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（湯田健二君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、議長において2番、星昌彦君及び3番、佐藤勤君を指名いたします。なお、両君には、本会議の会議録についてのご署名をお願いいたします。

日程第2 会議日程の報告

○議長（湯田健二君） 日程第2、会議日程の報告を行います。

さきの議会運営委員会において、会議の日程を本日1日限りにすることで決定されたことを報告いたします。

日程第3 町長提案理由の説明

○議長（湯田健二君） 日程第3、町長提案理由の説明を行います。

町長から提案理由の説明を求めます。

町長、星學君。

○町長（星學君） 皆さん、おはようございます。本日ここに令和6年度下郷町議会2月第1回会議の開催に当たり、議員各位におかれましては大雪で足元の悪い中、また大変お忙しいところご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本会議におきましては、議案1件をご提案申し上げますので、慎重なる審議の上、ご議決を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

それでは、その概要につきましてご説明を申し上げます。議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）でございますが、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ5,636万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ52億9,964万8,000円とするものでございます。

歳入であります、国の令和6年度補正予算（第1号）の成立を受け、国庫支出金の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金5,424万8,000円、また県支出金におきましては、県補正予算を受け、福島県物価高騰対応低所得世帯緊急支援事業補助金211万6,000円を計上するものでございます。

次に、歳出についてご説明を申し上げますが、歳入でご説明を申し上げました物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び福島県物価高騰対応低所得世帯緊急支援事業補助金を財源とした事業に要する経費を計上しております。

総務費でございますが、交通対策費におきまして、原油価格、物価高騰の影響により厳しい経営となっている会津鉄道に対し、県及び沿線3市町で支援するための会津鉄道緊急支援金66万3,000円を計上しております。

民生費でございますが、社会福祉総務費において、物価高騰等に直面する低所得世帯の支援のため、1世帯当たり3万円と対象児童1人当たり2万円の子供加算を支給する住民税非課税世帯重点支援給付金事業2,531万3,000円を計上するものでございます。

商工費でございますが、住民1人当たり5,000円の商品券を給付するがんばろ一下郷町ファイト商品券事業2,683万9,000円、物価高騰の緩和措置と地域内経済の活性化を図るため、物価高騰対応重点支援プレミアム商品券事業補助金1,200万円を計上し、予備費により収支の調整をするものでございます。

以上、本会議に提案いたしました議案についてご説明を申し上げました。詳細につきましては、後ほど総務課長から説明させますので、慎重なる審議の上、ご議決を賜りますようお願いを申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

日程第4 議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）

○議長（湯田健二君） 日程第4、議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）についての件を議題とします。

本案について議案の説明を求めます。

総務課長、湯田英幸君。

○参事兼総務課長（湯田英幸君） おはようございます。それでは、提出議案のご説明をいたします。

議案書1ページを御覧ください。議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）でございますが、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ5,636万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ52億9,964万8,000円とするものでございます。

7ページを御覧いただきまして、歳入でございますが、国の令和6年度補正予算（第1号）の成立を受け、14款国庫支出金の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金5,424万8,000円、また15款県支出金におきましては、県補正予算を受け、福島県物価高騰対応低所得世帯緊急支援事業補助金211万6,000円を計上するものでございます。

次に、8ページを御覧いただきまして、歳出でございますが、歳入でご説明申し上げました国、県の補助金等を財源とした事業に要する経費を計上しております。

2款総務費でございますが、8目交通対策費におきまして、原油価格、物価高騰の影響により厳しい経営となっている会津鉄道に対し、県及び沿線3市町で支援するための負担金、会津鉄道緊急支援金66万3,000円を計上しております。

3款民生費でございますが、社会福祉総務費において、物価高騰等に直面する低所得世帯の支援のため、1世帯当たり3万円と対象児童1人当たり2万円の子供加算を支給

する住民税非課税世帯重点支援給付金事業に要する経費2,531万3,000円を計上するものでございます。

7款商工費でございますが、住民1人当たり5,000円の商品券を給付するがんばろ一下郷町ファイト商品券に要する経費2,683万9,000円、物価高騰の緩和措置と地域内経済の活性化を図るため、物価高騰対応重点支援プレミアム商品券事業補助金1,200万円を計上し、予備費により収支の調整をするものでございます。

なお、主な事業につきましては、この後所管課長からご説明いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（湯田健二君） 健康福祉課長、湯田浩光君。

○健康福祉課長（湯田浩光君） おはようございます。それでは、議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）、住民税非課税世帯重点支援給付金事業の概要についてご説明申し上げます。

別添資料となります議案第40号資料を御覧ください。初めに、事業の内容でございますが、物価高騰による負担の増加を踏まえまして、特に家計への負担が大きい低所得者世帯、こちらは住民税非課税世帯になりますが、それに対し給付金支援を行うものとなっております。

2番の対象者でございますが、1番目として、令和6年12月13日、こちら基準日になります。その時点で下郷町に住民登録のある世帯、2番目といたしまして、世帯全員の令和6年度住民税均等割が非課税である世帯が対象となっております。ただし、住民税が課税されている方の扶養親族等のみからなる世帯は対象外としております。非課税世帯であっても、例えば町内外にいる課税者である子供に扶養されている場合は対象外となります。

3番の給付金につきましては、1世帯につき3万円、さらに子供加算として18歳以下、1人当たり2万円が給付されます。なお、対象世帯のうち、基準日以降子供が生まれた場合についても、要件を満たせば給付を受けることが可能となっております。

なお、対象世帯数につきましては780世帯を見込んでおります。

次に、下の欄を御覧ください。予算額として、歳入2,316万2,000円、こちらは国庫補助金となっております。歳出ですが、2,531万3,000円、民生費を計上しております。歳出の内訳でございますが、職員手当、こちら主に超過勤務手当が8万4,000円、コピー用紙や封筒などの消耗品につきましては需用費として7万5,000円、郵便料、口座振替手数料などの役務費が42万4,000円、システム改修に係る委託料が33万円、補助金、こちらは給付金になりますが、2,440万円、合計2,531万3,000円となっております。

今後の予定につきましては、システム改修により対象者及び給付金額が決まれば今月下旬には申請書を発送し、3月中旬から順次給付金を口座振込により支給する予定でございます。なお、申請期限につきましては今年3月末までとし、出納整理期間内には給付を完了する予定でございます。

以上、ご説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

○議長（湯田健二君） 総合政策課長、佐藤英勝君。

○総合政策課長（佐藤英勝君） おはようございます。それでは、議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）のうち、がんばろ一下郷町ファイト商品券事業並びに物価高騰対応重点支援プレミアム商品券事業の2件につきましてご説明をさせていただきます。

初めに、がんばろ一下郷町ファイト商品券事業でございますが、別紙のA4判2枚つづりの資料になります。議案第40号資料の1ページ目と議案書8ページの最下段から9ページにかけまして、こちらを2点併せて御覧いただきたいと思います。別紙資料になります。まず、1番の目的でございますが、臨時的な措置といたしまして、物価高騰の影響を受けている町民に対しまして商品券を配付することにより、物価高騰の影響緩和と地域内経済の活性化、消費の下支えを支援することを目的としております。

次に、対象者でございますが、今補正予算の議決日を基準日といたしまして、その基準日において本町の住民基本台帳に記録されている方を対象としております。なお、予算のほうでは本年1月1日現在の4,807人を積算の根拠としております。

次に、支給額でございますが、全加盟店共通券が3,000円分、小規模店専用券が2,000円分、合計いたしまして1人につき5,000円分の商品券を配付することとしております。

次に、4番の事業費でございますが、歳出につきましては、商品券本体を補助金2,403万5,000円、こちらに事務費といたしまして消耗品、宅配便送料、委託料の合計280万4,000円を加えまして、総額2,683万9,000円を計上してございます。また、こちらの財源につきましては、国物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金並びに福島県物価高騰対応低所得世帯緊急支援事業補助金を充当することとしております。

次に、5番の今後の予定でございますが、本事業につきましては令和7年度に繰越しを行い、執行させていただく予定としておりまして、令和7年4月下旬に商品券を発送、利用期限を令和7年10月下旬としております。

続きまして、物価高騰対応重点支援プレミアム商品券事業でございますが、同じ資料の2ページ目をお開きいただきたいと思います。議案書のほうは9ページになりますので、よろしくお願いたします。まず、こちらも1番の目的でございますが、こちらも臨時的な措置といたしまして、プレミアム分を付加しました町内でのみ利用できる商品券を販売することにより、物価高騰の影響緩和、地域内経済の活性化、消費の下支えを支援することを目的としております。

次に、2番の発行額でございますが、総額7,200万円分の商品券を発行いたしまして、このうち販売分6,000万円の20%、1,200万円をプレミアム分として町で負担をするものでございます。

次に、3番の事業費でございますが、歳出につきましてはプレミアム分の1,200万円分を補助金として計上いたしまして、財源につきましては国物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当することとしております。

次に、4番の事業主体でございますが、本事業は町商工会に事務局を置きます下郷町スーパープレミアム商品券事業実行委員会が事業主体となる予定としております。

次に、5番の今後の予定でございますが、本事業につきましても令和7年度に繰越し

を行い、執行させていただく予定としております。実際の販売につきましては、例年同様２回に分け実施いたしまして、第１回目の販売を令和７年４月上旬、利用期限を令和７年９月下旬、第２回目の販売を令和７年７月下旬、利用期限を令和８年１月下旬としております。

以上、がんばろ一下郷町ファイト商品券事業並びに物価高騰対応重点支援プレミアム商品券事業につきましてご説明を申し上げます。よろしくお願いいたします。

○議長（湯田健二君）　これから質疑を行います。ご質疑ありませんか。

８番、星和志君。

○８番（星和志君）　住民税非課税世帯重点支援給付金事業についての対象世帯数についてちょっとお聞きしたいのですが、こちらの世帯の中で生産人口というか、給与をもらっている方たちの世帯は何世帯あるのか、そしてその中で子供を抱えている世帯は何世帯あるのかと、年金高額にもらっている人と低くもらっている人というのは変わりなく非課税世帯になるのかちょっとお聞きしたかったので、お願いします。

○議長（湯田健二君）　健康福祉課長、湯田浩光君。

○健康福祉課長（湯田浩光君）　８番、星和志議員のご質問にお答えします。

まず、780世帯の内容につきましてですが、780世帯のうち高齢者世帯が実は689世帯、これは民生児童委員協議会のほうで昨年12月に調べた数字でございます。ですので、生産人口といいますか、それ以外の世帯につきましては780から689世帯を引いた約90世帯が対象かなと考えられます。

それから、子供の世帯でございますが、こちらは子供１人当たり２万円ということで、50人を見込んでおります。なお、世帯につきましては現時点では、大変申し訳ありませんが、調べてはおりません。すみません。

以上でございます。

○議長（湯田健二君）　よろしいですか。

○８番（星和志君）　年金受給額は関係なくなるのですか、きっと。非課税ということになると。

○議長（湯田健二君）　健康福祉課長、湯田浩光君。

○健康福祉課長（湯田浩光君）　年金受給者の数でございますが、先ほど申しました高齢者世帯の方、あくまでこれは世帯に３万円を給付するというような制度でございますので、高齢者世帯だと先ほど申し上げました689世帯の方がおおむね該当になるのではないかなと考えております。

以上です。

○議長（湯田健二君）　８番、星和志君。

○８番（星和志君）　ありがとうございます。

○議長（湯田健二君）　ほかにご質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（湯田健二君）　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（湯田健二君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第40号 令和6年度下郷町一般会計補正予算（第10号）についての件を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（湯田健二君） 異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて散会します。

ご苦労さまでした。（午前10時22分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和7年2月7日

下郷町議会議長

同 署名議員

同 署名議員